トマト独立ポット耕栽培

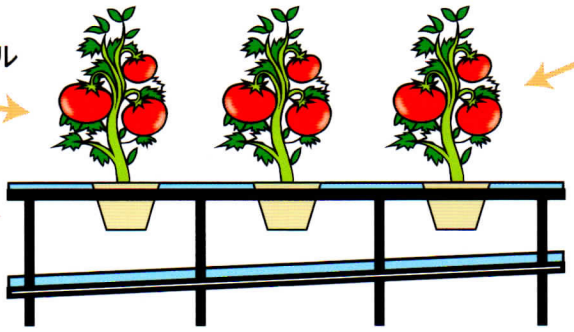
特徴

① 岐阜県農業技術センターが開発した技術
② トマトがそれぞれ独立したポットで生産され、自動制御で養液を供給
③ 通常の土耕栽培に比べ、高い収量が可能
④ 栽培方法がマニュアル化されており、栽培技術の習得が容易

システムイメージ図

高収量
- コンパクトな草姿
- 容易な生育コントロール

独立ポット
- 有機質培地の使用
- 不織布製ポットの使用
- 少量培地



排液回収

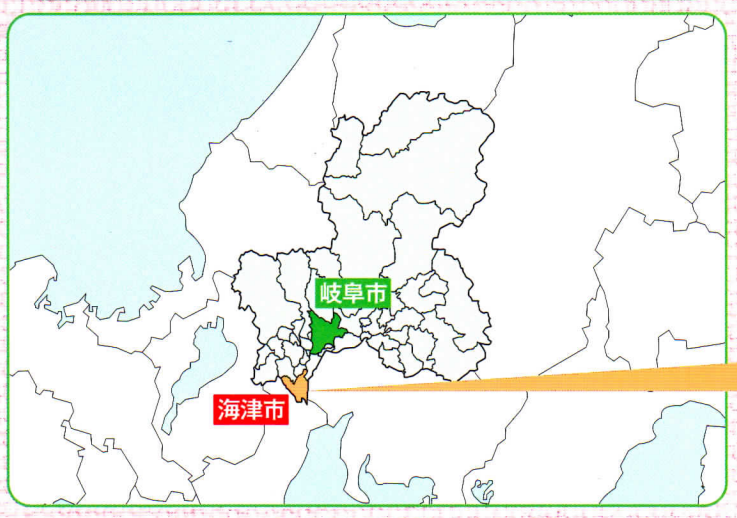
ベンチ栽培
（高さ50cm）

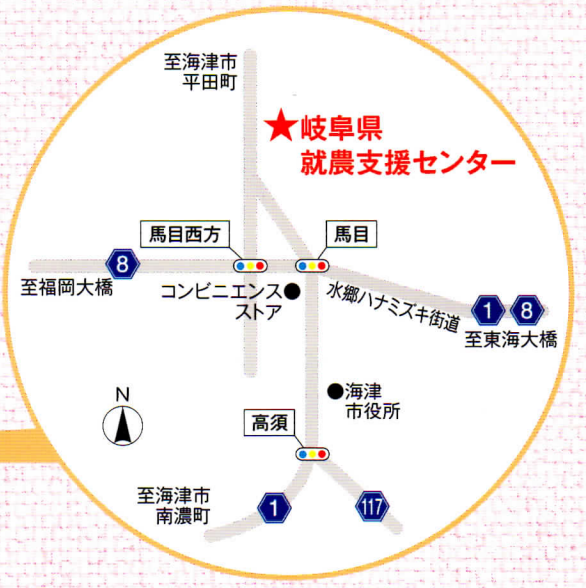
人に優しい
- 接木栽培の必要がない
- 収穫位置が高くなり、作業姿勢が改善される

環境に優しい
- 培地量が少なく省資源である（1.2L/株）
- 肥料の流出が少ない
- 土壌消毒の必要がない

トマトに優しい
- 病原菌の侵入を抑制できる
- 独立ポットにより、病害の拡大を抑制する
- 培地の温度調整が容易なので、気候の影響を受けにくい

岐阜県就農支援センターへのアクセス





〈東名阪自動車道から〉 ●名古屋方面　弥富ICより約20分　●四日市方面　桑名東ICより約20分
〈名神高速道路から〉 ●名古屋方面　羽島ICより約20分　●大阪方面　大垣ICより約20分
〈最寄駅〉 ●養老鉄道養老線駒野駅よりタクシーで約10分　●JR岐阜羽島駅よりタクシーで約20分

問い合わせ先

岐阜県就農支援センター
（岐阜県農業経営課担い手対策室就農研修係）
〒503-0651 岐阜県海津市海津町平原1165 TEL/FAX 0584-53-0175
E-mail c11419@pref.gifu.lg.jp　HP http://gifutomato.jp/